

獣医学教育の抜本的改善の方向と方法に関する研究

鹿児島大学の活動状況

課題番号 11306022

平成11年度～平成12年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))研究成果報告書

平成13年3月

研究代表者
鹿児島大学研究代表者 杉村 崇明

唐木 英明

1. はじめに

獣医学科では、国家試験が必須であり、獣医学教育では、最低限17の出題科目を教えなくてはならない。しかし、鹿児島大学を含む地方国立大学の獣医学科では教授の数は9-11名にすぎない。このような現状では、1名の教授が複数の科目を担当したり、他大学から講師を迎えたりして急場をしのぐことになり、充実した教育が望めない。一方、日本獣医師会が獣医師を雇用している事業所に対して行ったアンケート調査では、臨床教育の不備が指摘されている。これは、地方国立大学の教官数と設備の慢性的な不足によるものであり、獣医学教育・研究の充実も社会的にも要望されている。

鹿児島大学農学部獣医学科は学内での獣医学教育充実を要求する過程で、平成6年、農学部獣医学部創設推進委員会が設立された。しかし、陳情を含む多くの努力にもかかわらず獣医学部創設は実現していない。また平成9年には、西の連合大学院を構成する山口大学、鳥取大学、宮崎大学、鹿児島大学の四大学が、再編整備の可能性を検討するために西日本四大学再編整備検討委員会を立ち上げ、現在までに29回の委員会を開催してきた。鹿児島大学と鳥取大学の農学部における検討が進まない中、山口大学と宮崎大学の獣医学科は2校で先行して九州大学に獣医学部をつくる方向で九州大学と前向きに検討を進めている。一方、本学部では平成11年4月に将来構想委員会を設立し、10月には将来構想委員会の下部組織である動物系教育・研究に関する専門部会（一次）をまた平成12年6月から動物系教育・研究に関する専門部会（二次）を立ち上げて、鹿児島大学農学部における獣医学科充実構想について審議を進めている。

2. 鹿児島大学における獣医学教育改善についての活動状況

鹿児島大学獣医学科における獣医学教育改善のための活動の歴史は古く、昭和51年獣医学科紫友同窓会内に「鹿児島大学獣医学部昇格推進委員会」の発足と昭和52年「鹿児島大学獣医学部昇格期成同盟会」の設立にさかのぼる。しかし、鹿児島県知事、国会議員、文部省ならびに農林水産省への度重なる陳情にもかかわらず獣医学部昇格は成功しなかった。更に平成6年には鹿児島大学農学部獣医学部創設推進委員会が設立され、委員会において獣医学部創設の必要性を説明し、理解を求めてきたが、具体的な審議が進んでいない。一方、平成11年「獣医学科再編問題」を検討するため新たな将来構想委員会が農学部内に設立された。動物系全体の教育組織の中で獣医学科再編問題を検討したいとの農学部長の提案から将来構想委員会の下部組織に、動物系教育・研究に関する専門部会が設立された。一次の専門部会では、獣医学科再編にどのような方向があるかを検討し、二次の専門部会では農学部内での獣医学科充実の可能性について検討した。現在、九州大学への再編統合の道も残した状態で、農学部内での獣医学科充実案について検討中である。

1) 将来構想委員会

平成11年、堀口 毅学部長から農学部の将来の在り方を検討する「将来構想委員会」を立ち上げるとの提案がなされた。獣医学科再編問題を討議する手順として既設の獣医学部創設推進委員会を1回開いて以降は各学科から選出された委員で構成される将来構想委員会で議論されることとなった。平成11年3月17日の教授会で「農学部将来構想委員会規則」が制定され、平成11年4月14日に第1回の農学部将来構想委員会が開催され専門部会内規について検討がなされた。また第2回の将来構想委員会では獣医学科長がこれまでの経緯について報告した。第3回将来構想委員会では、獣医学科再編問題を将来構想委員会の下部組織である「鹿児島大学農学部動物系教育・研究に関する専門部会」で検討することが諮られ、平成11年7月14日に第1回動物系教育・研究に関する専門部会が開催された。平成11年10月25日まで8回にわたる討議がなされた後、専門部会において答申がまとめられた。その後、将来構想委員会において専門部会からの答申について検討され、獣医学科がこれまで要望してきた「九州大学統合移転構想」は「鹿児島大学農学部内での充実構想案」、「新学部構想案」ならびに「宮崎大学との連合大学構想案」と同様、農学部の動物系教育・研究を充実させるための選択肢のひとつであることが確認された。その後、後任の西中川学部長は平成12年7月3日に「動物系教育・研究に関する専門部会（二次）」を発足させ鹿児島大学農学部内での充実構想案について検討することを決めた。平成12年10月19日には「動物系教育・研究に関する専門部会（二次）」から将来構想委員会へ答申がなされ、3案からなる農学部内での充実構想案が示された。現在まで15回にわたる将来構想委員会で、鹿児島大学農学部として農学部内で獣医学科を充実させる方向で討議されている。

2) 動物系教育・研究に関する専門部会（一次）

平成11年7月14日萬田正治教授（家畜生産学科）を委員長として10名の委員から構成される「動物系教育・研究に関する専門部会（一次）」が立ち上げられた。本委員会では獣医学科再編問題を農学部の動物系教育・研究の充実という視点から検討し、将来構想委員会へ答申するものである。10月25日までの3カ月の間に8回委員会を開催した。論議の基本的視点は（1）動物系教育・研究の理念と領域をどのように考えるか。（2）農学部を取り巻く社会情勢および就職環境の変化をどうとらえるか（3）農学部における動物教育は南九州地域ならびに国際社会においてどのような役割を果たすのか（4）周辺科学（生物工学、情報処理、生命科学、環境科学）の進歩をどうとらえ、動物系教育の中に組み入れていくのか（5）動物系教育の組織・運営体制はどうあればよいのかということであった。10月25日に将来構想委員会へ答申されたが、特に動物系教育・研究組織の

基本構想については、(1) 鹿児島大学農学部での充実構想(2) 新学部構想(3) 宮崎大学との連合大学構想(4) 九州大学統合移転構想が提案され、これらは併記でいずれも選択肢のひとつであることが了解されたが、一定の方向を結論づけるには至らず、判断を将来構想委員会並びに農学部教授会に委ねた。(資料1) また獣医学科では平成12年2月に堀口学部長に審議を早く進めるよう要望書を提出した。

3) 動物系教育・研究に関する専門部会(二次)

動物系教育・研究に関する専門部会(一次)から答申された教育・研究組織の基本構想については一定の方向を結論づけることはできなかった。答申された選択肢の有無を含めて、農学部全体の基本的将来構想を検討するため、平成12年4月、将来構想委員会の下部組織として「基本構想専門部会(委員長:竹田靖史評議員、生物資源化学科)」が設置された。基本構想専門部会は6回の部会を開催し審議を重ねて平成12年6月29日に農学部将来構想委員会に対して、動物系教育・研究に関する専門部会(二次)を設置し、獣医学教育の学内での充実構想への最初のステップとして学部の自助努力で最大限対応が可能な教育分野と充足すべき分野について緊急に検討を深めるよう要請した。平成12年7月21日林 国興教授(生物資源化学科)を委員長として10名の委員から構成される「動物系教育・研究に関する専門部会(二次)」が立ち上げられた。10月18日までの3カ月の間に6回委員会を開催した。論議の基本的視点は、基本構想専門部会から要請された農学部内での充実構想である。10月18日には将来構想委員会へ(1) 獣医学科のみの改組案(2) 獣医学科に家畜生産学講座を加えた改組案(3) 獣医学科に旧畜産学科を加えた改組案の3案が答申された。(資料2)

4) 動物系教育・研究に関する専門部会(二次)の答申を受けて

将来構想委員会では、動物系教育・研究に関する専門部会(二次)の答申を受けて6回の委員会を開催し3案からなる改組案について審議した。3案のいずれも他学科の教官席を要求するものであり、会議の席上獣医学科が太るだけであるという厳しい批判が出された。その後、獣医学科教官は学科会議において、他学科に配慮することが必要であるとの見解から他学科の教官席を要求しない新たな案を提出することを決めた。新案の内容は、獣医学科助手席6を臨床獣医学大講座の教授・助教授席に振り替え、更に連携講座の設置によって獣医学教育・研究の充実を図ろうというものである。将来構想委員会において、この代案を提出した結果、多くの委員から賛同が得られた。

5) 西日本再編整備検討委員会

山口大学、鳥取大学、宮崎大学、鹿児島大学の西日本四大学で再編整備検討委員会を作り、25回に亘る検討委員会の中で、四大学の獣医学科がひとつの獣医学部を創設することに合意し、候補大学を九州大学とした。宮崎大学は平成10年から「九州大学と交渉してよい」との承諾を教授会で得た。一方、平成12年6月14日山口大学は「九州大学案が出たら前向きに検討する」という提案を教授会で承認した。しかし、鳥取大学と鹿児島大学が学部内で検討中であることから、四大学案を維持したまま、山口大学と宮崎大学が先行して九州大学と獣医学部創設について交渉することとなった。6月29日に第一回の九州大学との私的研究会（総長の私的諮問委員会）が開催され、九州大学から8名、西日本四大学から12名参加した。鹿児島大学と鳥取大学はオブザーバーとして参加したが、渡辺元九州大学薬学部長を委員長とすること、またこれまでの西日本再編整備検討委員会の経緯などが報告された。9月25日には第2回の私的研究会が開催され、山口大学と宮崎大学が2校先行の素案を提出し、たたき台をして認められた。九州大学は、その後部局長会議において「獣医学府検討委員会」を設置し、九州大学への獣医学府の必要性について検討することとなった。

3. 配分された研究費との関連

配分された研究費は、科研班会議への出張旅費、ならびに九州大学で開催された私的研究会への出張旅費として使用された。

4. おわりに

西日本再編整備検討委員会において山口大学、鳥取大学、宮崎大学、鹿児島大学の獣医学科がひとつの獣医学部を創設することに合意し、候補大学を九州大学とした。しかし、鳥取大学と鹿児島大学が今なお学部内で検討中であることから、四大学案を維持したまま、山口大学と宮崎大学が先行して九州大学と獣医学府創設について交渉することとなった。鹿児島大学獣医学科教官は、これまで獣医学教育・研究の充実のために九州大学への統合移転が必要であるとの理解を示し、農学部において繰り返し説明してきた。しかし、ここ数年内に独立行政法人化がスタートするという厳しい状況の中で、鹿児島大学農学部は「生き残り」のためにどうしても獣医学科が必要であるとの見解を示した。これは、南九州という食糧生産基地において、食糧生産および生活環境保全における安全性、健康の増進に獣医学が重要な役割を果たすこと、また地域への貢献がより充実できるという考えに基づ

いている。以上のことから獣医学科再編問題を討議する動物系教育・研究に関する専門部会ならびに将来構想委員会では、学内で自助努力による充実構想について検討を進めた。しかし、学内における獣医学科充実とは他学科の多くの教官席を要求するものであり、教官席の移動については他学科の生き残りとも関連して厳しい批判を受けた。その結果、大学基準協会から出された基準には満たないものの、獣医学科助手席の教授・助教授への振り替えと連携講座の新設によって獣医学教育・研究を充実させる案に落ちついた。九州大学獣医学府創設については平成14年度の概算要求を要求を目指している現在、鹿児島大学獣医学科も学内での充実案について概算要求を提示し、最終的には文部省の意見を仰ぎたいと考えている。

5. 鹿児島大学における獣医学改善活動状況の経緯

- | | |
|-----------|---|
| 平成 9.6.12 | 第1回西日本四大学再編整備検討委員会の開催
(4大学の再編成の可能性を検討)西連大研究科長「獣医学科再編整備の進め方の基本方針(私案)」作成 |
| 9.10.11 | 第2回西日本四大学再編整備検討委員会の開催
(4大学の獣医学科が1つの獣医学部を創設することに合意、候補大学を九州大学として模索) |
| 9.12.18 | 第3回西日本四大学再編整備検討委員会
(鹿児島大学は九州大学案を了承)西連大研究科長「九州大学獣医学部設置趣意書」の作成 |
| 10.2.12 | 第4回西日本四大学再編整備検討委員会
(鹿児島大学は趣意書に同意、西連大研究科長の九州大学打診を了承) |
| 10.2.24 | 西連大研究科長が文部省専門教育課と相談 |
| 10.4.5 | 第5回西日本四大学再編整備検討委員会
(新獣医学部の構成を各大学で検討) |
| 10.4.16 | 西連大研究科長が九州大学との話し合いを行う |
| 10.5.11 | 農学部長に再編の討議の経過説明(獣医学科長) |
| 10.5.16 | 鹿児島県獣医師会長に再編の経過説明(獣医学科長) |
| 10.5.20 | 鹿児島大学農学部内の「鹿児島大学獣医学部創設推進委員会」を開催。再編の趣旨と経過を説明。 |
| 10.6.1 | 鹿児島県庁農政次長、畜産課長が農学部長を訪問 |

- 10.6.12 第 6 回西日本四大学再編整備検討委員会
(各大学から再編整備運動経過報告)
- 10.7.10 第 7 回西日本四大学再編整備検討委員会(鹿児島大)
(鹿児島大学獣医学科として、九州大学獣医学部構想を作製。
他の大学案とともに検討。)
- 10.9.3 鹿児島大学獣医学科農学部長に再編について、その後の再編に関する
経過説明(農学部としては現時点では取り上げず。)
(西中川、杉村、西尾、坂本 対応)
- 10.9.8 鹿児島県獣医師会長に獣医再編問題の経過説明
(西中川、杉村、西尾 対応)
- 10.9.10 鹿児島県、畜産課に獣医再編問題の経過説明(杉村、西尾)
- 10.9.17 鹿児島大学学長に獣医学教育の充実と再編問題に関して説明を行う。
(出席者:学長、事務局長、農学部長、西中川評議員、杉村学
科長、西尾副学科長)
- 10.9.30 第 8 回西日本四大学再編整備検討委員会(宮崎大)
- 10.10.21 教授会で学部長の報告事項(農学部長会議)の中で学科長が獣医再編
問題の補足説明をした。
- 10.10.15 第 9 回西日本四大学再編整備検討委員会(山口大)カリキュラムの検
討。
- 10.11.9 学長に対する説明(第 2 回目)
(学長会議のため急遽説明、西中川、杉村、西尾が対応)
- 10.11.10 学科長会議で獣医再編問題の討議の手順について検討した。各学科で
議論することとなった。
- 10.11.13 第 10 回西日本四大学再編整備検討委員会(鳥取大)
カリキュラムの検討
- 10.12.10 学科長会議で獣医再編問題の検討手順が了承された。
(獣医学部創設推進委員会を 1 回開いて以降は各学科等から選
出された委員で構成された将来構想委員会で議論する。)
- 10.12.18 第 11 回西日本四大学再編整備検討委員会(山口大)
組織およびカリキュラムの検討
- 11.1.22 第 12 回西日本四大学再編整備検討委員会(山口大)
組織およびカリキュラムの検討
- 11.2.18 第 13 回西日本四大学再編整備検討委員会(山口大)
組織およびカリキュラムの検討
- 11.3.11 「獣医学部創設推進委員会」において学科長が西日本四大学再編整備

の経過を説明

- 11.3.17 教授会で「農学部将来構想委員会規則」が制定された。
- 11.3.18 第14回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
組織およびカリキュラムの検討
- 11.4.14 第1回農学部将来構想委員会 専門部会内規について検討
- 11.5.12 第2回農学部将来構想委員会 将来構想委員会専門部会について検討、獣医学科問題について学科長が経過報告
- 11.5.14 第15回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
新獣医学部趣意書案の検討
- 11.6.9 第3回農学部将来構想委員会
将来構想委員会専門部会について検討、専門部会の名称を「鹿児島大学農学部動物系教育・研究に関する専門部会」とする
- 11.6.10 第16回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
組織およびカリキュラムの検討
- 11.7.14 第1回動物系教育研究に関する専門部会
委員長を萬田正治（家畜生産学科教授）とした
- 11.7.27 第2回動物系教育研究に関する専門部会
動物系教育・研究の理念と目標を検討
- 11.8.19 第3回動物系教育研究に関する専門部会
動物系教育・研究の具体的な構想について検討
- 11.8.25 第4回動物系教育研究に関する専門部会
動物系教育・研究の具体的な構想について検討
- 11.9.8 第5回動物系教育研究に関する専門部会
動物系教育・研究の具体的な構想について検討
- 11.9.14 第6回動物系教育研究に関する専門部会
動物系教育・研究の具体的な構想について検討
- 11.9.20 第7回動物系教育研究に関する専門部会
獣医学科の九大統合移転の見通しについて討議
- 11.10.14 第17回西日本四大学再編整備検討委員会（ホテルサンルート熊本）
今後の展望について検討
- 11.10.21 第18回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
今後の展望について検討
- 11.10.25 第8回動物系教育研究に関する専門部会
専門部会として将来構想委員会へ答申をまとめた。
- 11.11.2 第4回農学部将来構想委員会
動物系教育・研究に関する専門部会答申について検討

- 11.11.12 第19回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
各大学の報告と今後の方針について検討
- 11.12.17 第21回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
各獣医学科の諸問題について検討
- 12.1.26 第5回農学部将来構想委員会 動物系教育・研究に関する専門部会答
申について検討
- 12.2.17 第22回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
今後の展望について検討
- 12.2.23 第6回農学部将来構想委員会
基本構想専門部会の設置及び委員の選出について
- 12.3.8 公開講演会：日本における動物系教育・研究の問題点と将来展望
講師：唐木英明教授（東京大学）徳力幹彦教授（山口大学）
- 12.3.16 第23回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
今後の展望について検討
- 12.4.7 第24回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
今後の展望について検討
- 12.6.4 第25回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
今後の展望について検討
- 12.6.29 第1回九大との私的研究会
九大側8名、西四大学側12名で構成
- 12.7.3 第8回農学部将来構想委員会専門部会「動物系教育・研究に関する専
門部会（二次）」の設置について
- 12.7.21 第1回動物系教育・研究に関する専門部会（二次）
獣医学科の鹿児島大学農学部における充実について検討
- 12.8.14 第2回動物系教育・研究に関する専門部会（二次）
獣医学科の鹿児島大学農学部における充実について検討
- 12.8.17 第3回動物系教育・研究に関する専門部会（二次）
獣医学科の鹿児島大学農学部における充実について検討
- 12.8.25 第26回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
今後の展望について検討
- 12.9.5 第4回動物系教育・研究に関する専門部会（二次）
獣医学科の鹿児島大学農学部における充実について検討
- 12.9.14 第27回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大）
今後の展望について検討
- 12.9.25 第2回九大との私的研究会

2校先行の素案を提出し、たたき台として認められた。九大に検討委員会をつくるが、その際山口大学と宮崎大学から公的な要望書が欲しい。

- 12.10.3 第5回動物系教育・研究に関する専門部会（二次）
獣医学科の鹿児島大学農学部における充実について検討
- 12.10.8 第28回拓大西日本四大学再編整備検討委員会（大阪府立大学コミュニケーションセンター）
農学部から九州大学との交渉に理解が得られていない鳥取大学と鹿児島大学の現状と今後について検討
- 12.10.18 第6回動物系教育・研究に関する専門部会（二次）
将来構想委員会への答申について検討
- 12.10.19 第29回西日本四大学再編整備検討委員会（山口大学）
今後の展望について検討
- 12.10.20 第9回農学部将来構想委員会
基本構想専門深いの審議経過報告と動物系教育・研究に関する専門部会（二次）について検討
- 12.11.6 第11回農学部将来構想委員会
動物系教育・研究に関する専門部会（二次）について各講座での検討内容報告
- 12.11.21 第12回農学部将来構想委員会
動物系教育・研究に関する専門部会（二次）について検討